

令和7年度 第1回 公立大学法人宮崎公立大学役員会 議事要録

日 時	令和7年6月27日（金）13:30～15:08
場 所	宮崎公立大学 特別会議室
出席者	亀田理事長（議長）、辻副理事長、長濱理事、山田理事、近藤監事
配付資料	<p>【資料1－1】令和6年度業務実績及び第3期中期目標期間業務実績報告書(案)</p> <p>【資料1－2】令和6年度業務実績及び第3期中期目標期間業務実績報告書_根拠資料</p> <p>【資料2－1】令和6事業年度事業報告書</p> <p>【資料2－2】令和6事業年度財務諸表</p> <p>【資料2－3】令和6事業年度決算報告書</p> <p>【資料3】令和6年度就職状況について</p> <p>【資料4】宮崎公立大学「国際情報学科」について</p> <p>【資料5】我が国の「知の総和」向上の未来像～高等教育システムの再構築 ～（答申）要旨</p>
議 事	<p>1 あいさつ</p> <p>今年度も例年と同程度の214名の入学者を受け入れたこと、令和6年度の就職率が99.5%であり、入口・出口共に安定した状況となっていることが報告された。また、令和9年度の新学科開設に向けて、学長が県内の高校訪問に赴き広報活動を実施しており、引き続き取組みを進めていくとの報告がなされた。</p> <p>2 審議事項</p> <p>(1) 令和6年度業務実績及び第3期中期目標期間業務実績(案)について</p> <p>令和6年度業務実績及び第3期中期目標期間業務実績(案)について、資料1-1、1-2に基づき説明がなされ、審議の上、原案の通り承認された。</p> <p>(2) 令和6事業年度事業報告について</p> <p>令和6事業年度事業報告について、資料2-1から資料2-3に基づき説明がなされ、審議の上、原案の通り承認された。</p> <p>3 報告事項</p> <p>(1) 令和6年度就職状況について</p> <p>令和6年度の就職状況について、資料3に基づき、報告がなされた。</p> <p>(2) 宮崎公立大学人文学部「国際情報学科」について</p> <p>令和9年度開設の新学科に係る進捗状況について、資料4に基づき、報告がなされた。</p> <p>(3) 中央教育審議会の答申について</p> <p>令和7年2月に出された「知の総和」答申について、資料5および動画資料に基づき、報告がなされた。</p>

	<p>4 その他</p> <p>(1) 来年度新規採用教員の公募状況について、報告がなされた。</p>
--	---

令和7年度 第2回 公立大学法人宮崎公立大学役員会 議事要録

日 時	令和7年11月25日（火）9:55～11:10
場 所	宮崎公立大学 特別会議室
出席者	亀田理事長（議長）、辻副理事長、山田理事、近藤監事、清家監事
配付資料	<p>【資料1】令和8年度宮崎公立大学予算編成案について 【資料2-1】客員研究員制度について 【資料2-2】公立大学法人宮崎公立大学客員研究員規程（案） 【資料3-1】新学科設置及び新カリキュラムの準備状況 【資料3-2】（参考資料1）学則 【資料3-3】（参考資料2）数理・データサイエンス・AI教育プログラム認定制度 【資料4】SCSK株式会社が提供する「教育機関応援型ふるさと納税」について 【資料5】令和8年度学校推薦型選抜I等の志願状況 【資料6】令和7年度就職内定状況</p>
議 事	<p>1 あいさつ 理事長から、第1回役員会以降の本学の動きについて、報告を行った。特に、6～10月に計3回開催したオープンキャンパスでは、過去最高の880名の方に参加いただくことができたこと、SNSを中心とした広報活動の成果である参加者増を今後実施していく入学試験への志願者につなげていきたい旨が報告された。</p> <p>2 審議事項 （1）令和8年度宮崎公立大学予算編成案について 令和8年度宮崎公立大学予算編成案について、資料1に基づき説明がなされ、審議の上、原案の通り承認された。</p> <p>（2）客員研究員制度について 客員研究員制度について、資料2-1及び資料2-2に基づき説明がなされ、審議の上、原案の通り承認された。</p> <p>3 報告事項 （1）新学科設置及び新カリキュラムの準備状況について 新学科設置及び新カリキュラムの準備状況について、資料3-1から資料3-3に基づき、報告がなされた。</p> <p>（2）大学版ふるさと納税の導入について 大学版ふるさと納税の導入について、資料4に基づき、報告がなされた。</p>

	<p>(3) 令和8年度学校推薦型選抜Ⅰ等の志願状況について 令和8年度学校推薦型選抜Ⅰ等の志願状況について、資料5に基づき、報告がなされた。</p> <p>(4) 令和7年度就職内定状況について 令和7年度就職内定状況について、資料6に基づき、報告がなされた。</p> <p>4 その他 京都大学防災研究所との今後の連携について、報告がなされた。</p>
--	--